

民間資源回収場所における回収量等調査

資料4

調査対象年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回収箇所数	42箇所	35箇所	33箇所
回収品目別設置箇所数(回収量)			
段ボール	39箇所(1,040t)	32箇所(1,148t)	30箇所(1,185t)
古着	32箇所(416t)	28箇所(469t)	25箇所(366t)
スチール缶	4箇所(6t)	4箇所(5t)	5箇所(12t)
ガラスびん	2箇所(72t)	1箇所(97t)	1箇所(123t)
ペットボトル			1箇所(30t)
回収量合計①	3,482 t/年	3,478 t/年	3,503 t/年
稲沢市における資源回収量②	4,502 t	4,011 t	3,827 t
全体に占める割合①÷(①+②)	43.6%	46.4%	47.8%

- ・ 調査対象33箇所のうち、3箇所は回収量非公開であった。
- ・ 新聞紙、雑誌は33箇所全部、雑がみは1箇所を除き、段ボールは3箇所を除き回収がある。
- ・ ガラスびん、ペットボトルは1箇所のみで回収している。(ペットボトルは令和3年度から回収開始)
- ・ スチール缶は1箇所増加。古着は回収箇所、回収量ともに減少している。
- ・ 回収箇所数は令和元年度から減少している。今後も横ばいまたは減少すると思われる。
- ・ 民間資源回収場所での取扱いが少ないスチール類、ガラスびん、ペットボトル等については、引続き行政回収による排出機会の確保が必要となる。

※②は、集団回収、分別収集、地域ステーション及び拠点回収での回収量の合計。